

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン

# 国内子ども支援の現場から

## みんなのへやの 春休み

ワールド・ビジョン・ジャパンが2023年の夏から運営している子どもの居場所「みんなのへや」。普段は週1回の開催ですが、春・夏の長期休みには時間を延長し、週2回開催しています。今年の春休みには恒例のランチクッキングに加え、ちょっとしたお楽しみも準備し、いつも以上にゆっくり・のんびりできる「みんなのへや」として好評でした。



©World Vision



©World Vision



©World Vision



©World Vision

ランチのピザトーストともんじゃ焼き  
もんじゃ焼きは初体験の子も

(上)お祝いスイーツを配る様子  
(下)ビックサイズのポップコーン

ランチメニューづくりを振り返って大事にしたのは、みんなのお腹が満たせて、少しめずらしく目にも楽しい、豊富な食材の選択肢。もんじゃが苦手な子を想定し、お餅も用意しました。フルーツサンドの試作時はコツがいるかと心配でしたが、それは杞憂でした。子どもたちは、食べたいフルーツすべてと山盛りのクリームをパンにのせてうれしそう！華やかで素敵です。好きなように食べたいように楽しむのが一番、と教えられました。今後も、わっと盛り上がるメニューを考えていきます。(担当 村上)

## おめでとう！の思いをこめて

夏休みに比べると春休みは期間が短く、これまではイベントがなかなか実施できませんでした。しかし今年は、小学校を卒業する子どもたちも多かったことから、「子どもたちの思い出に残る時間を届けたい」とのスタッフのアイディアで、「お祝いミニスイーツ」と「映画上映会」を実施しました。ミニスイーツは2種類から好きなものを



←ランチクッキングの  
フルーツサンド

を選ぶ形にし、おやつ時間にサプライズで提供。6年生には「卒業おめでとう！」、ほかの学年の子どもたちには「1年間おつかれさま！」との気持ちを込め、みんなで乾杯しました。「映画上映会」ではビッグサイズのポップコーンも用意し、おかわり自由のパーティーに。途中からは、ある子がトッピングのバターを上手にかけてくれる「バター職人」となり、まわりの子どもたちにもたくさんふるまってくれました。

## ～スタッフからひとこと～

新学期を迎えたある日、いつも通り集まった子どもたちは、どこか疲れた様子でした。新しい環境の中で緊張している子どもたちを案じるスタッフもいましたが、会話に耳を傾けてみると、それぞれの学校やクラスについて、思い思いに語り合い、次第にいつものリラックスした雰囲気へと戻っていきました。子どもたちにとって「みんなのへや」が安心して帰ってこられる居場所になっていると感じ、スタッフ一同ほっとした思いでした。これからも、学校などで少し疲れた心をふっと緩められるような居場所をめざしていきたいと、私たちも気持ちを新たにしました。



(高橋・高山・村上・山下)

